

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名 特定非営利活動法人

寝屋川市国際交流協会

1 事業の趣旨・目的

ボランティア講師としてさらに知識を増やし、さまざまな外国人の日本語習得に対応できることをめざす

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月11日	寝屋川市立 市民会館	久保貞也 田伏雅弘 新宅智子 鶴丸志よう 子 桑原宗雄 伊藤裕子	・講座内容の検討 ・受講者の募集の範囲 について ・地域の在住外国人現 状について ・ボランティア活動につ いて	・市役所、大学、教師、 ボランティア、それぞれ の立場から、外国人を 取り巻く状況や、問題点 などについて討議。 ・情報の周知の難しさ、 その解決方法を討 議。
2月4日	寝屋川市立 市民会館	久保貞也 新宅智子 鶴丸志よう 子 桑原宗雄 伊藤裕子	・開講内容についての検 証 ・ブラッシュアップ講座へ の出席について ・今後の目標	・それぞれの立場で抱え ている問題が違う。広い 視野を持ってみると、解 決策や、新たな道筋が 見える事がある。地域 のいろいろな関係機関 との情報の共有や、協 力体制を確立していくべ きである。

【写真】



3 講座の内容について

- (1) 講座名 日本語教室ボランティア講師ブラッシュアップ研修
- (2) 目標 ボランティアとは何かという原点から、今後の活動に向けての知識などを得る。
- (3) 受講者の総数 22人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
(出身・国籍別内訳 日本 21人 タイ人 1人)
- (4) 開催時間数(回数) 30時間 (10回)
講義 1.5時間 (10回) 実習 1.5時間 (10回)
- (5) 参加対象者の要件
NIEFA 日本語教室ボランティア講師
- (6) 受講者の募集方法
日本語教室で講師へお知らせの配布
- (7) 会場
ア 講義 寝屋川市立市民会館
イ 実習 寝屋川市立市民会館
- (8) 使用した教材・リソース
講師作成レジュメ
にほんご宝船
- (9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
5月28日(土) 13:00～16:00	ボランティアとは	寝屋川市社会福祉協議会 濱吉信彰氏	16人

6月25日(土) 13:00～16:00	ブラッシュアップ 研修の目的	講師 アークアカデミー京都校 須田将昭氏	15人
7月9日(土) 13:00～16:00	カルチャーショックについて	講師 アークアカデミー京都校 須田将昭氏	17人
8月20日(土) 13:00～16:00	ボランティアの心得	寝屋川市社会福祉協議会 濱吉信彰氏	10人
9月20日(火) 15:30～18:30	日本語の語彙	講師 アークアカデミー京都校 須田将昭氏	7人
10月25日(火) 15:30～18:30	日本語の語彙	講師 アークアカデミー京都校 須田将昭氏	7人
11月29日(火) 15:30～18:30	音声の指導	講師 アークアカデミー京都校 須田将昭氏	8人
12月20日(火) 15:30～18:30	音声の基礎と指導	講師 アークアカデミー京都校 須田将昭氏	9人
1月17日(火) 15:30～18:30	総仕上げ ～実践活動～	講師 アークアカデミー京都校 須田将昭氏	8人
2月18日(土) 10:00～13:00	日本語能力試験とは	講師 アークアカデミー京都校 須田将昭氏	11人

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

- ・今まで知らなかった部分の知識が増え、教える事にさらに自身がついた。
- ・毎回、先生が日頃の質問について答えて下さるのでとてもためになった。
- ・日本語について、さらに興味がわいてきた。
- ・ボランティア活動についての考え方が変わった。
- ・ボランティアとはいえ、学習者にとっては頼るべき講師だと言われ、責任とやりがいのある活動だと改めて感じた。

② 実施主体からの研修内容結果評価

ボランティア養成講座を経て、ボランティア講師として活動されている皆さんに、少しでも日本語講師としての知識を増やしてもらい、またボランティアとして学習者と共に学ばせてもらうという、相互扶助・共生の認識を再確認してもらえたと思う。しかし、社会情勢の変化や、日本語教育の変化に対応するためには、継続的なブラッシュアップ講座が必要である。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

引き続き、日本語教室の運営、ボランティア講師の養成などを行い、地域在住外国人のために日本語教室を開催し、よりよい共生関係を築けるようなサポートを継続。また、互いを認め合い、受け入れ合う事で、より豊かな社会になるよう、外国人と地域住民の交流会を定期的に開催する。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

私達は、民間 NPO 活動として、地域住民と在住外国人との多文化共生社会を実現すべく、日本語教室を開催し、また相談窓口や交流会などを開催している。地域のなかには、外国人を雇用している企業などもあり、われわれが培った人材や知識をもって、協力関係を築いて連携を図っていきたい。

② 研修後の人材活用

日本語教育の知識、やる気をさらに蓄えた講師は、日本語教室での活動にさらに意欲を見せている。また、新たなボランティア講師にもよい指導や影響を与えてもらえると思うので、どんどん活躍の場を提供したい。

(12) 今後の課題

今回のブラッシュアップ講座を受講した講師からは、「学習者との活動はとても流動的で固定されたものではないので、いろいろな学習者に対応する力が講師に求められる。しかし、ボランティア講師は、日本語教育としてのプロではないので、すべての学習者に充分な対応が出来ているかは分からないが、自分たちの最大限の知識を生かし活動する事に喜びを感じ活動している。今回のような、ブラッシュアップ講座を定期的に開催してもらおうと、日頃の活動の疑問や問題を質問できるのでとても活動の助けとなる。」というような意見があった。継続的に、ボランティア講師活動をしてもらうためには、今回の様な講座を定期的に開催し、自信をもって活動に臨んでもらえる環境を整えていきたい。